

⑬ 福島県立博物館を活用した会津文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）： 福島県立博物館（福島県）
 文化観光推進事業者：
 会津若松市、（一財）会津若松観光ビューロー
 （公財）福島県観光物産交流協会（地域連携DMO）
 会津若松商工会議所、只見川電源流域振興協議会

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- 外国人来館者数
 2019年度 221人 → 2024年度 4千人（18倍）
 ※10年後（2029年度）には 6千人（27.1倍）
- 福島県立博物館来館者数
 2019年度 12万人 → 2024年度 14万人（1.2倍）
- 会津の宿泊者数の増加
 2019年度 116万人 → 2024年度 140万人（1.2倍）

文化観光拠点施設機能強化事業

- 文化資源の魅力の増進**
 - エリア周遊ストーリーの作成と展示解説・体験プログラムの提供
- 文化についての理解促進**
 - VR展示整備、多言語対応、ツアーコンテンツの作成
- 文化観光に関する利便の増進**
 - 周遊のためのサイン多言語化、Wi-Fi整備、キャッシュレス化
- 飲食、販売、宿泊等との連携の促進**
 - 会津の工芸品、食品等を用いてレストランで提供
- 国内外への宣伝**
 - エリア周遊に関する情報を入手できるコーナーを整備
- 施設又は設備の整備**
 - 展示室、レストコーナー、無料空間の整備

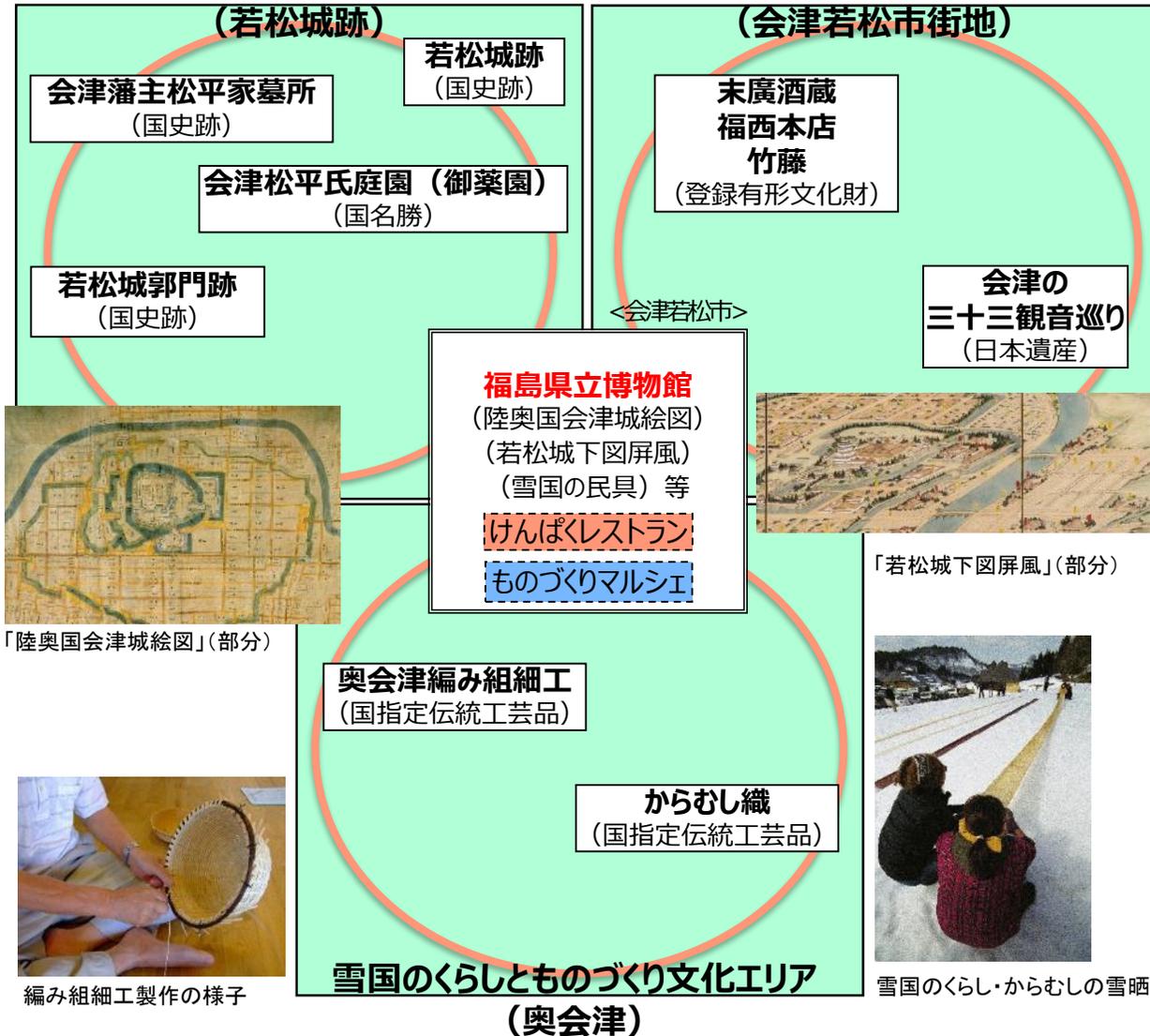
文化クラスター推進事業費（5年間の計画ベース）

234百万円（うち、補助金156百万円）

計画区域

会津のSAMURAI文化エリア

若松城下の商工文化エリア



中核文化観光拠点施設
 (主要な文化資源)

主要な文化資源
 (文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設